

## 1/27 新法人の門出祝う

昨年10月に設立した農事組合法人「勝山グリーンファーム」（柏原勝代表理事組合長）の設立記念祝賀会が中央公民館で開かれ、構成員とその家族、設立に携わった農協等関係者100人が法人の門出を祝いました。道内最大規模の経営面積を持つ法人への周囲の期待は大きく、置戸の農業をはじめ、地域の活性化を担う原動力になることを期待されています。



## 1/29 小学生気分を満喫

置戸小学校で1月29日、こどもセンターどんぐりの年長児など18人を対象とした一日入学体験・保護者説明会が開かれました。園児たちは、折り紙を教してもらったり、体育館で一緒に遊んでもらうなどして先輩児童と交流。お昼には給食の試食会もあり、あこがれの小学校生活を一足早く味わっていました。なお、入学式は4月6日に行われる予定です。



## 2/2 地場産食材を給食に

きたみらい農業協同組合と農協名「みらい」を冠して連携している青森県の津軽みらい農業協同組合の両役員が2月2日、役場を訪れ、小学校、中学校、保育園の給食食材に役立ててほしいと、玉葱17箱、馬鈴薯スノーマーチ21箱、りんご6箱を贈呈しました。きたみらい農業協同組合のこの取組は今年で7回目となり、今後地場産の食材が給食で提供されます。



## 2/3 元気よく鬼退治

節分の2月3日、こどもセンターどんぐりで豆まきが行われました。ホールに集まり、豆まきにまつわるお話を聞いていたところへ、突然、2体の鬼が登場。泣き出す子や逃げ回る子もいる中、勇敢な園児たちが「鬼は外」と言いながら勢いよく豆にかえてボールを鬼にぶつけていました。また、この日の給食には「福が訪れますように」と願いを込めて、恵方巻きが振る舞われました。

